

**安心できる介護保険を実現するために**  
 介護保険は3年ごとに見直しが行われ、平成21年4月がそれに当たる。市民が安心できる制度となるよう質問する。  
**質問** 保険料は値上げを行わず、負担能力に合ったものにすべきではないか。  
**市長** 審議会の答申を見定めて、市としての対応を決定していきたい。  
**質問** 必要なサービスが受けられない方に対して生活援助サービスなどを市独自で行うべきではないか。  
**市長** 「要支援」などの方には本人の「できる能力」を生かし、重度化の防止を図ることが重要なので、考えていない。

**安心して出産できる救急医療体制を**  
 14回の妊婦健診は国の緊急経済対策に盛り込まれているが、市は無料となるのか。  
**市長** 今後、財源の確保を含め検討する。  
**質問** 里帰り、助産院の検診無料化を。  
**市長** 来年度の予算編成に向け検討する。

**豊かな保育を実現するために**  
 施策の充実のため、一般会計からの繰り入れについて研究すべきでは。  
**市長** 現役世代に負担を転嫁することになるため、繰り入れは考えていない。  
**豊かな保育を実現するために**  
 政府は保育の最低基準と公費負担の責任をなくし、安上がりなものにする議論を進めている。子育て支援により予算を振り向けるべきとの立場から質問する。  
**質問** 国で検討が進められている保育制度改変について、市長の見解を伺う。  
**市長** より良い保育制度のありようを議論することは必要であると考えている。  
**質問** 認証保育所の保護者への補助金を

すずき たくや 議員  
**鈴木 拓也**  
 (日本共産党)



◆安心できる介護保険にするために  
 ◆豊かな保育を実現するために  
 ◆企業のリストラに対し要請を

**市長** 地域推進計画の中で基金の設置とその財源について検討していく。  
**質問** 「はむらん」の車両更新の際に、環境配慮車両を導入し、「エコバス」として温暖化防止のアピールを。  
**市長** 現在の「はむらん」は自動車排出ガス規制の適合車である。今後も低公害車を導入し、環境とPRに努めていく。  
**安心して出産できる救急医療体制を**  
**質問** 14回の妊婦健診は国の緊急経済対策に盛り込まれているが、市は無料となるのか。  
**市長** 今後、財源の確保を含め検討する。  
**質問** 里帰り、助産院の検診無料化を。  
**市長** 来年度の予算編成に向け検討する。

での支援を継続、強化していきたい。  
**質問** 地域活性化を目的とした「屋台村」を核としたコミュニティビジネスは有効な取り組みと考えるがいかがか。  
**市長** 創業を目指す若者を育成し、市内空き店舗での創業を促し、にぎわいや雇用の創出を図り、地域を活性化することを、まちづくりの一つの方策と考える。コミュニティビジネスへの取り組み機運を高め、実施する団体や人が出てくるよう、市としてもビジネスモデル構築や経営相談など後押しをしていく。



▲元気に遊ぶ子どもたち (羽村市動物公園)



▲江戸街道公園

**来年度の財政見通しについて**  
**質問** 来年度の市税収入の見通しは。  
**市長** ほとんどの税目において増収となる要因が少なく、大変厳しい予算編成になるものと考えている。

**質問** 財政の弾力性を示す経常収支比率が平成19年度決算では95・5%となっているが、見通しは。  
**市長** 現時点では、比率を押し上げる要因が多い。来年度予算編成方針で、経常的経費である「一次経費」の抑制や、事務事業を根本まで改めて見直すよう指示するなど、比率を下げる努力をしている。

**入札契約制度改革について**  
**質問** 災害復旧や高齢者・障害者雇用、環境対策等の地域の社会貢献活動をしている事業者に対して、地域活性化の観点からも、入札契約制度の中で何らかの優遇措置を講じるべきと考えるがどうか。  
**市長** 平成21年度から実施予定の総合評価方式一般競争入札において、地域貢献活動を評価項目とすることは、法律の趣旨に照らしても適正な評価制度設計であると考えており、今後、第三者委員会との意見を伺いながら取り入れていきたい。

**江戸街道公園の整備について**  
**質問** 江戸街道公園は羽村市で唯一の信号機や踏切のある自転車で行ける交通公園であるが、子どもたちが友達や親

つゆき りょういち  
**露木 諒一 議員**  
 (公明党)



- ◇ 来年度の財政見通しについて
- ◇ 入札契約制度改革について
- ◇ 江戸街道公園の整備について

はせひら こうぞう  
**馳平 耕三 議員**  
 (民主党)



- ◇ 定額給付金をどう考えるか
- ◇ 区画整理の規模を見直すべきでは
- ◇ 不当要求・行政対象暴力について

**定額給付金をどう考えるか**  
**質問** 定額給付金についてどう考えるか。また、その実施方法を地方に丸投げされたことをどう考えるか。  
**市長** 現在の不況下における家計への支援には、一定の効果があると考えますが、大局的な影響については、国が調査し、判断するものだと考える。丸投げされたということではなく、国と市区町村が互いに共同して実施していくものと理解している。

**区画整理の規模を見直すべきでは**  
**質問** 平成21年度の税収、今後の税収の見通しは。  
**市長** 来年度の税収は、各税目で減収または横ばいと推計しており、大変厳しい予算編成になると考えている。今後の税収は、予想することは大変難しいことから、経済状況を的確にとらえていきたい。

**質問** 長期総合計画では、平成19年度から平成23年度の5年間で、996億円の歳入・歳出を予想しているが可能か。



▲定額給付金について伝える新聞記事

**市長** 現時点では、歳入991億円、歳出987億円の財政フレームになっている。今後、向こう3年間の実施計画の見直しを行った後、改めて議員に示していく。

**質問** 税収が厳しさを増す中で、歳出のどこをどう削減し補う考えか。  
**市長** 平成21年度の予算編成方針にお

子で遊びながら交通ルールやマナーを学び、交通事故を減らしていくことを目的とした施設の整備をしてはどうか。

市 設置当初は交通ルール等を学ぶための交通公園としての役割を持たせていたが、現在は多目的な公園として活用されている。今後も現状を踏まえ

て、多目的に利用できる公園として、維持管理していきたい。

質 現在2カ所あるトイレのうち、水洗トイレは1カ所のみである。他のトイレも水洗化すべきと考えるが。

市 来年度、水洗化工事を実施していく予定である。

なかね やすお  
中根 康雄 議員  
(羽村クラブ)



◇羽村市の教育問題について  
◇西口区画整理について

羽村市の教育問題について

市内小中学校の学力低下が言われて久しい。細やかな指導と、子どもたちを自立させるような教育が学力向上に不可欠であると考え、以下伺う。

質 学力向上のための施策は。 教育長 授業改善推進プランに基づき習熟度別学習や課題別学習に取り組んでいる。小学校に各1人の学習サポーターを、中学校に補助員を導入し対応している。9月からはさらに各小学校に学習サポーターを100時間分追加配置し、補習指導時間を設定した。

質 理想の教師像と指導力不足の教員とはどんなものと考えているか。 教育長 理想の教師像は、教育に対する熱意と使命感を持ち、豊かな人間性と思いやりがあり、実践的な指導力のある教師であり、指導力不足の教員とは、学習指導が適切に行えない、児童等の心を理解する能力や意欲に欠け、学級経営や生活指導を適切に行えない、教員の資質に問題がある者などである。

質 なぜ学校間で授業日等が異なるのか。 教育長 特色ある学校づくりを進めるため、学校長が授業日等を設定できるように規則を改正したことによる。

質 来年度30人以上の学級となる市

内の学級数はどの程度の見込みか。 教育長 小学校が67学級、中学校は44学級すべてが対象となる予定である。

西口区画整理について

質 区画整理の規模を見直す考えは。 市 将来の羽村市にとって必要な事業であり、規模・内容など根本的なもの

について、既存のすべての事務事業を根本まで見直すこととし、新たな事業については新規事務事業評価を徹底することで対応していく。

質 区画整理の規模を見直す考えは。 市 将来の羽村市にとって必要な事業であり、規模・内容など根本的なもの

については見直す考えはない。 質 対応を強化すべきでは。 市 職員へのマニュアルの周知徹底、クレーム対応研修の実施、警視庁等との情報交換・連絡体制の充実などにより、不当要求等に届かない組織としていく。

質 理想の教師像と指導力不足の教

員とはどんなものと考えているか。

質 理想の教師像は、教育に対する熱意と使命感を持ち、豊かな人間性と思いやりがあり、実践的な指導力のある教師であり、指導力不足の教員とは、学習指導が適切に行えない、児童等の心を理解する能力や意欲に欠け、学級経営や生活指導を適切に行えない、教員の資質に問題がある者などである。

質 なぜ学校間で授業日等が異なるのか。 教育長 特色ある学校づくりを進めるため、学校長が授業日等を設定できるように規則を改正したことによる。

質 来年度30人以上の学級となる市



▲羽村駅西口駅前の通り



▲学校図書館巡回司書

**行政情報のシステム化にかかわる課題**  
**質問** 稼働している電子システム数は。  
**市長** 今年度、55システムである。  
**質問** 運用に要する総費用はいくらか。  
**市長** 機器等の賃借料、業務委託料等の総額は、3億8千600万円である。  
**質問** 契約の妥当性の検証方法は。

**市長** 部課長で組織する情報化推進委員会です。導入・更改等の目的、効果、費用、機器構成、機能、他市との比較などについて審査し、検証している。  
**質問** 専門知識を持つシステムエンジニアを職員として採用してはどうか。  
**市長** 適任者が少なく、技術進歩も速いため、必要の都度、民間の人材を活用していくことが効果的と考えている。  
**質問** セキュリティ確保の対策は。  
**市長** 内部・外部監査を実施することでセキュリティポリシーの実効性を確認し、見直しや事務改善を行うことで確保している。  
**学校図書館をより一層魅力あるものに**  
**質問** 司書の巡回により、改善されたことは何か。  
**教育長** 各学校から、蔵書の整理ができた、見出し表示ができ本が探しやすくなった、貸出・返却のマナー指導の徹底が図られた、新書購入に的確な助言が得られる、などが報告されている。

もんま ひでこ  
**門間 淑子** 議員  
 (市民ネットワーク「いきいき広場」)



◇行政情報のシステム化について  
 ◇学校図書館を一層魅力あるものに

やまざき よういち  
**山崎 陽一** 議員  
 (世論)



◇西口区画整理の不透明さを問う  
 ◇市政世論調査の結果について

**事業費355億円について**  
**質問** 諸物価が値上がりしている。事業費への影響は試算しているか。  
**市長** 諸物価の値上がりは、長期的に見てどのように変化するかは予測は極めて困難で、現時点では計画終了年度までの事業費への影響を試算することはできない。  
**質問** 区画整理特別会計以外に、事業に要した費用と今後の支出予定額は。  
**市長** 355億円以外の経費は、西口区画整理用地取得費が平成19年度末で27億905万円、平成20年度から平成22年度の見込みが8億9千600万円である。一般会計からの支出は、点在墓地の移転用地購入費、整備費などで9千450万円、移転経費が平成19年度末で293万円、平成20年度以降は1億90万円の見込み。上水道事業費が5億8千700万円、雨水、汚水を含めた下水道事業費は9億2千800万円の見込みである。



▲羽村駅西口土地区画整理先行取得用地の一つ

平成17年度市政世論調査で、市の施策と市民の要望の食い違いが大きい  
**質問** 「市民の望む施策」の1位は「医療・保健衛生対策」で38・9%、2位「高齢者福祉」34・1%、3位「防犯対策」30・1%である。市民の要望に対してどんな事業を実施したか。